

2023年度 サビエル高等学校 学校評価書

【教育方針】

～愛と奉仕に生きる～

本校はキリスト教精神に基づいて、真・善・美を追求し、
知・情・意の調和のとれた円満な人格の育成を目指しています。
学力向上 愛と奉仕 国際交流 を通して21世紀を創る社会人を育てます。

【3つの教育目標】

I 祈る(心を育てる):祈りを通して、自分自身や他者をありのままに受け入れよう。

II 学ぶ(知性を磨く):神から与えられた能力をともに伸ばそう。

III 行動する(他者のために、他者とともに生きる):地球社会の一員として、できることから始めよう。

【スクールモットー】

For Others, With Others

～他者のために、他者とともに～

理事長



学校評価総括

●学校運営について、それぞれの担当部署において、目標達成のため様々な方策に取り組んだ。保護者アンケートの「知人や友人に、サビエル高校への入学を勧めたいと思う。」「この学校に入学させて良かったと思う。」という質問について、昨年に比べ、ポイントが上がっていることから、今年度の活動の成果のひとつとして捉えたい。生徒、保護者の満足度が、学校についての総括的な指標であり、今後についても、各項目ごとに見直しを図り、サビエル高校に対する満足度を上げていかなければならない。教科、学年、分掌等それぞれで、2023年度を振り返り、以下の反省点、気づきなどを基に、改善を図りたい。

○ルーブリックアンケートについて、今年度も全学年でアンケートを実施した。この評価を取り入れたことで、建学の理念をもとにした教育がどの程度達成できているかを検証する一助となっている。年度途中から学校改革について動きが高まり、建学の理念の部分についても、今の時代、今のサビエル高校にマッチしたものを検討し、来年度から活用する予定である。

○学校の危機管理運営について、これまで通り運営していく。昨今の荒天への対応については、できるだけ早めの対応を心がけていく。新型コロナについては、一応収束を迎えたが、今回の経験を活かしたい。

○教職員間での効果的な協体制の構築が引き続き課題である。コロナ禍となり、密を避けるため職員室を二か所に分けており、このことで少なからずコミュニケーションが減ったように感じる教職員もいた。このことについては、2024年度から、職員室を一室に戻す予定である。また、教員が多忙であり、ひと昔前のような余裕がなくなってきたという意見も多い。学校関係者からも、仕事の見直しについてご意見をいただいている。働き方改革の点からも改善策を出していかなければならない。教員の負担軽減のため、校務支援ソフトを導入し、一定の効果は出ているようである。

○学校から保護者への連絡・情報提供についてはメール配信、Classiなどの利用により、大変効果があったと感じる。学校関係者の意見として、保護者、生徒が教職員と話しやすい環境づくりが必要との声もあった。よりよくしていくために今後、検討していきたい。

○学校行事については、コロナの収束に伴い、徐々にコロナ禍以前に戻していった。サビエル祭では、外部からの入場者入れることができた。修学旅行についても、久しぶりに東京方面で実施することができた。生徒満足度アンケートの「学校行事に満足している。」では、昨年とほぼ同じ87%の生徒が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しているが、「そう思う」の回答が増えている。来年度は、さらに生徒が自主的に活動できるような行事運営を進めていきたい。

○本校企画の海外研修について、4年ぶりに実施することができた。行き先はイギリスとして実施。コロナ禍で、海外研修に行くことができなかった3年生の希望者も参加した。韓国聖母女子高校との交流は、今年度も実施することができなかったが、次年度は復活する予定である。留学生受入については、今年度も、アジアからの留学生を迎え入れることができた。これらの事業はサビエル高校ならではのものである。今後も、AFS等の留学支援団体と力を合わせ取り組んでいきたい。また、初の試みとして行ったモンゴルからの短期留学生の受け入れについて、来年度も交流を予定している。学校関係者の意見として出ていた、留学生のホストファミリーの募集方法などは参考とさせていただきたい。

○広報活動については、広報部を中心として教職員全員で中学校、塾への訪問、オープンスクール、学校説明会などの企画運営に力を注いだ。2023年度は、特にInstagramの更新頻度を増やし広報活動に取り組んだ。理事会からの支援で始まったラジオ放送「サビエルラヂオ倶楽部」も軌道に乗り、生徒たちの活躍の場ともなっている。来年度についても、Web上での広報活動を増やし、効果的にやっていきたい。広報活動については、学校関係者からいただいた様々なメディアを使っでの広報についても参考にしていきたい。

●学習指導に関する部分については学校の核となる部分である。今年度の3年生で旧課程は終了となり、次年度はいよいよ新課程大学入試の年となる。今年度はその準備の年でもあった。また、ICT機器の活用については、今後也多様化していくことが予想される。様々な情報を得ながら、探究心を持って取り組まなければならない。

○授業に関する満足度アンケートの回答について、「そう思う」の項目を上げたいと考えている。各教科、授業の見直しなどを行い、授業改善をしているが、まだ足りない部分がある。常に生徒に軸足を置いた改善をしていきたい。

○生徒アンケートの「授業に満足している」の項目について、保護者満足度アンケートの結果は生徒満足度アンケートの結果に比べて満足度が低い。保護者満足度アンケートの記述回答が参考となった。生徒と保護者との回答の差については、学校関係者からもご意見をいただいた。これらの意見を参考としていきたい。

○授業は学校生活の中の大半を占める部分である。これらの項目について、少しでも「どちらかといえばそう思う」ではなく、「そう思う」を増やしていけるよう見直しを図ってきたい。

●進路指導に関する部分について、保護者、生徒アンケートともにおおむね良好な評価となっている。これらの結果が、卒業後の進路実績にも活かせるよう努力していきたい。今年度の現役生の進路先は、国公立大学9名、私立大学32名、専門学校11名、留学1名となった。特別進学コースの国公立大学進学率は約57%であった。

○進路指導に際して、積極的にICT機器が利用できてきていると感じているが、利用方法などについては常に見直しを図ってきたい。

○保護者満足度アンケートの記述回答から本校の指定校推薦制度についての要望もあった。学校の制度にもかかわる部分なので、今後、慎重に検討していきたい。

○進路行事(3月に大学講師等を招き、出前授業をしていただく)を、1、2年生対象として実施している。今年度についても、幅広い分野の講師を招き、生徒の進路意識の向上を図った。進路選択のための一助となったと思う。学校関係者からの意見として、卒業生の話を開ける機会や、進路行事に保護者を呼んでほしいとのご意見もあったので、ぜひ参考とした。

○地元公立大学の山口東京理科大学について、今年度は工学部の受験希望者がいなかったが、指定校推薦枠を有効活用できるよう、早期から生徒への情報提供に力を入れていきたい。

●生徒指導に関する部分について、教員の生徒への関わり方については小規模校ならではの近い距離感があり、それがサビエル高校の良さの一つとなっている。生徒対応について、スクールカウンセラー、シスターにも関わっていただき多くの助言を得ることができた。

部活動については様々な問題、制約もある中、運動部、文化部ともに地道に活動している。(剣道部…中国大会出場、美術・写真部…全国総合文化祭美術・工芸部門出品 など)部活動の活性化のために教職員の意見を活かせるよう整備をしていきたい。

○昨年度の学校関係者評価の意見として、「あいさつ」についての助言をいただいていた。校長のリーダーシップのもと、「あいさつ」の励行に努め、自然と「あいさつ」が交わされる場面が増えたように感じる。

○生徒アンケートの結果からも、生徒指導面での教員間の指導の差を多少なりとも感じている生徒がいることがわかる。学校関係者からも、このことについて意見をいただいている。今後も機会あるごとに教職員間の共通理解の徹底に努めていかなければならない。

○教員の生徒への関わりについてはおおむね良好と言えるが、特に担任はその関わりが大きい。しかし、近年は、担任一人では対処が難しい場面も多くなった。学年団を中心とし、生徒支援担当、管理職が協力し対応していかなければならない。年々、生徒を取り巻く諸問題も多様化し、その関わりには特に気を配らなくてはならない。今後についても、情報共有と対応についてしっかりと協体制をとってきたい。

○部活動については、活動時間、指導者の確保など、難しい面が多くなってきた。本校では、この何年間で、部活動の統廃合を検討している。バスケットボール部、吹奏楽部の廃部を予定している。また美術部と写真部については、統合して活動を行っている。

2023年度 サビエル高等学校 教職員による学校評価

評価基準： 4…そう思う 3…どちらかといえばそう思う 2…どちらかといえばそうは思わない 1…そう思わない

意見・要望欄について
 ○…高評価
 △…低評価、今後の課題

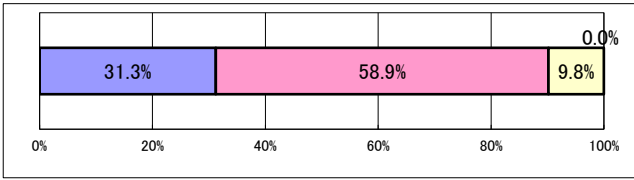
自己評価				学校関係者評価		
領域	評価の観点	評価	気づき等	①意見・要望等	②評価	
主に学校運営全般に関する事柄	1	学校は、建学の理念「愛と奉仕に生きる」のもと、教育を行っている。	3.69	今年度の5月から、新型コロナウイルス感染症の扱いが変わり、その対応が大きく変化し、コロナ禍以前に戻りつつある1年となった。本校においても、日々の感染対策、様々な行事の運営方法を徐々に元に戻していった。 1、2について …年度ごとに若干の変化はあるが、おおよそ同様の結果となった。生徒、保護者のアンケート結果についても良好な結果となっている。今年度の学校改革の中で、建学の理念の部分について見直しを行った。根本的な部分は変わらないが、今の時代に合わせた文言とする。 3について …特にメール、クラッシー、HPを利用した緊急時の情報共有はスムーズに行われていると感じる。生徒、保護者とも、この項目について良好な結果となっている。この情報共有については、これまで同様、危機管理面だけでなく、保護者への情報提供、いろいろな連携にも活用している。 4について …2020年の5月から、新型コロナ感染予防対策として密を避けるため、職員室を二部屋に分けている。現在もその状況が続いている。ひとつの職員室で全員が顔を合わせる機会がなくなり、些細なコミュニケーションが少なくなっていることは確かである。教職員から「学校全体の動きがわかりにくい部分がある。特に他学年の動きがわからない。」といった意見もあった。また、本校に限らず教職員の仕事量は増えているのが現状である。そのため、教職員に以前ほど余裕がなくなってきたと感じる。職員室については、来年度から、職員室を一部屋に戻す予定である。 5について …メールやクラッシー、HPを利用した密な連絡を心がけている。連携という点から、学校行事等でのサビエル会との連携をより強めていきたい。 6について …学校行事については、新型コロナの影響も少なくなり、活動しやすくなったはずであるが、教職員の評価が少し下がっているのが気になる。「学校行事の内容について、早めに職員会議で審議し周知するとよい。」といった意見もあった。5にも関係するのかもしれないが、こまめな共通理解が必要である。 7について …生徒、保護者ともに評価はとも高。ボランティア活動についても、新型コロナの影響はほぼなくなってきており、活動できる機会が増えている。探究での活動を含めると年間60回程度のボランティア活動に参加した。「ボランティア活動の年間計画があるとよい。」という意見もあった。実績のある活動については、あらかじめ周知することも可能である。 8について …「アジアの高校生架け橋プロジェクト」の後継として「アジアの高校生架け橋プロジェクトプラス」による留学生の受け入れを行った。アジアからの留学生3名を受け入れることができた。また、今年度は、モンゴルからの留学生を受け入れる試みを行った。夏と冬の2回行い、概ね好評を得た。来年度は、規模を拡大しての受け入れを検討している。長期留学生受け入れとしてフィンランドとノルウェーから2名の男子生徒を受け入れた。留学生受け入れについては、AFSの関係者の方々、ホストファミリーとして手助けしていただいた地域の皆様など多くの方に助けていただいた。夏休み中の海外研修についても、行き先はイギリスとして4年ぶりに実施することができた。教職員からは「もっと留学生と在校生が触れ合ったり、協同して活動する機会があるとよい。」「授業中における留学生への支援は不十分な気がする。」といった意見もあり、改善すべき部分は改善していかなければならない。 9について …HPの充実、Instagramでの広報活動に加え、理事会の方からの援助を受け、ラジオ放送を開始するなど外部への露出度を上げている。しかし、教職員自己評価は、昨年と比べて下がっている。広報活動についての見直しとして、ホームページの見直し、Instagramにおいて生徒からの情報発信などを検討中である。	△職員室が1つになることで、先生方の連携UPになることを期待したい。 ○Instagramに関しては、卒業式の歌のショートムービーが、卒業生には特に好評であった。インスタでは主に写真が多いが、今後はリールも入れるといいのではないだろうか。 △留学生については、在校生とクラスメイトだけでなく、多くの生徒と関われる機会があるとよいと思う。 △1、2、3について、可能ならばHPでさらにわかりやすくなっていると、中学生などから興味をもたれるのではないかと。 △5について、他の項目よりも1、2が多い。積極的な生徒や保護者から話や訴えがない場合の回答であると考えられる。対象者に不利益が生じないことを伝えた上で話しやすい環境づくりをすることが大切である。目立つことのない対象者から意見を聞くことのできる関係づくりについて検討する機会を先生方の中で設けていただきたい。(多忙な中とは思いますが) △8について、ホストファミリーについては、保護者全体に直接希望をつることも必要かと思われる。具体的に、また受け入れの経験談やメリットを伝え、生徒の家庭での受け入れが増えることを期待したい。そうすることで学校との距離も近くなるのではないかと。 △Instagram、YOU TUBE、親しみやすいTikTokも活用していただきたい。親しむやすさもあわせ、サビエルの良さが全国に発信できると入学生増もききたいのではないかと。	3.75 3.75 3.75 2.50 3.25 3.50 3.50 3.50 2.75
	2	学校は、3つの教育目標〔①祈る(心を育てる) ②学ぶ(知性を磨く) ③行動する(他者とともに、他者のために生きる)〕に基づいて、教育を行っている。	3.69	…「アジアの高校生架け橋プロジェクト」の後継として「アジアの高校生架け橋プロジェクトプラス」による留学生の受け入れを行った。アジアからの留学生3名を受け入れることができた。また、今年度は、モンゴルからの留学生を受け入れる試みを行った。夏と冬の2回行い、概ね好評を得た。来年度は、規模を拡大しての受け入れを検討している。長期留学生受け入れとしてフィンランドとノルウェーから2名の男子生徒を受け入れた。留学生受け入れについては、AFSの関係者の方々、ホストファミリーとして手助けしていただいた地域の皆様など多くの方に助けていただいた。夏休み中の海外研修についても、行き先はイギリスとして4年ぶりに実施することができた。教職員からは「もっと留学生と在校生が触れ合ったり、協同して活動する機会があるとよい。」「授業中における留学生への支援は不十分な気がする。」といった意見もあり、改善すべき部分は改善していかなければならない。 9について …HPの充実、Instagramでの広報活動に加え、理事会の方からの援助を受け、ラジオ放送を開始するなど外部への露出度を上げている。しかし、教職員自己評価は、昨年と比べて下がっている。広報活動についての見直しとして、ホームページの見直し、Instagramにおいて生徒からの情報発信などを検討中である。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
	3	学校は、生徒の安全確保を最優先し、危機管理を根拠とした運営を行っている。	3.50	…「アジアの高校生架け橋プロジェクト」の後継として「アジアの高校生架け橋プロジェクトプラス」による留学生の受け入れを行った。アジアからの留学生3名を受け入れることができた。また、今年度は、モンゴルからの留学生を受け入れる試みを行った。夏と冬の2回行い、概ね好評を得た。来年度は、規模を拡大しての受け入れを検討している。長期留学生受け入れとしてフィンランドとノルウェーから2名の男子生徒を受け入れた。留学生受け入れについては、AFSの関係者の方々、ホストファミリーとして手助けしていただいた地域の皆様など多くの方に助けていただいた。夏休み中の海外研修についても、行き先はイギリスとして4年ぶりに実施することができた。教職員からは「もっと留学生と在校生が触れ合ったり、協同して活動する機会があるとよい。」「授業中における留学生への支援は不十分な気がする。」といった意見もあり、改善すべき部分は改善していかなければならない。 9について …HPの充実、Instagramでの広報活動に加え、理事会の方からの援助を受け、ラジオ放送を開始するなど外部への露出度を上げている。しかし、教職員自己評価は、昨年と比べて下がっている。広報活動についての見直しとして、ホームページの見直し、Instagramにおいて生徒からの情報発信などを検討中である。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
	4	教職員間(学年間・教科間・その他)の協働体制ができています。	3.31	…「アジアの高校生架け橋プロジェクト」の後継として「アジアの高校生架け橋プロジェクトプラス」による留学生の受け入れを行った。アジアからの留学生3名を受け入れることができた。また、今年度は、モンゴルからの留学生を受け入れる試みを行った。夏と冬の2回行い、概ね好評を得た。来年度は、規模を拡大しての受け入れを検討している。長期留学生受け入れとしてフィンランドとノルウェーから2名の男子生徒を受け入れた。留学生受け入れについては、AFSの関係者の方々、ホストファミリーとして手助けしていただいた地域の皆様など多くの方に助けていただいた。夏休み中の海外研修についても、行き先はイギリスとして4年ぶりに実施することができた。教職員からは「もっと留学生と在校生が触れ合ったり、協同して活動する機会があるとよい。」「授業中における留学生への支援は不十分な気がする。」といった意見もあり、改善すべき部分は改善していかなければならない。 9について …HPの充実、Instagramでの広報活動に加え、理事会の方からの援助を受け、ラジオ放送を開始するなど外部への露出度を上げている。しかし、教職員自己評価は、昨年と比べて下がっている。広報活動についての見直しとして、ホームページの見直し、Instagramにおいて生徒からの情報発信などを検討中である。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
	5	学校は保護者への情報提供や保護者への連携を十分にしている。	3.31	…「アジアの高校生架け橋プロジェクト」の後継として「アジアの高校生架け橋プロジェクトプラス」による留学生の受け入れを行った。アジアからの留学生3名を受け入れることができた。また、今年度は、モンゴルからの留学生を受け入れる試みを行った。夏と冬の2回行い、概ね好評を得た。来年度は、規模を拡大しての受け入れを検討している。長期留学生受け入れとしてフィンランドとノルウェーから2名の男子生徒を受け入れた。留学生受け入れについては、AFSの関係者の方々、ホストファミリーとして手助けしていただいた地域の皆様など多くの方に助けていただいた。夏休み中の海外研修についても、行き先はイギリスとして4年ぶりに実施することができた。教職員からは「もっと留学生と在校生が触れ合ったり、協同して活動する機会があるとよい。」「授業中における留学生への支援は不十分な気がする。」といった意見もあり、改善すべき部分は改善していかなければならない。 9について …HPの充実、Instagramでの広報活動に加え、理事会の方からの援助を受け、ラジオ放送を開始するなど外部への露出度を上げている。しかし、教職員自己評価は、昨年と比べて下がっている。広報活動についての見直しとして、ホームページの見直し、Instagramにおいて生徒からの情報発信などを検討中である。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
	6	各種学校行事について、充実して行われている。	3.31	…「アジアの高校生架け橋プロジェクト」の後継として「アジアの高校生架け橋プロジェクトプラス」による留学生の受け入れを行った。アジアからの留学生3名を受け入れることができた。また、今年度は、モンゴルからの留学生を受け入れる試みを行った。夏と冬の2回行い、概ね好評を得た。来年度は、規模を拡大しての受け入れを検討している。長期留学生受け入れとしてフィンランドとノルウェーから2名の男子生徒を受け入れた。留学生受け入れについては、AFSの関係者の方々、ホストファミリーとして手助けしていただいた地域の皆様など多くの方に助けていただいた。夏休み中の海外研修についても、行き先はイギリスとして4年ぶりに実施することができた。教職員からは「もっと留学生と在校生が触れ合ったり、協同して活動する機会があるとよい。」「授業中における留学生への支援は不十分な気がする。」といった意見もあり、改善すべき部分は改善していかなければならない。 9について …HPの充実、Instagramでの広報活動に加え、理事会の方からの援助を受け、ラジオ放送を開始するなど外部への露出度を上げている。しかし、教職員自己評価は、昨年と比べて下がっている。広報活動についての見直しとして、ホームページの見直し、Instagramにおいて生徒からの情報発信などを検討中である。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
	7	学校は、ボランティア活動を通して他者のために生きる人材となるよう指導している。	3.81	…「アジアの高校生架け橋プロジェクト」の後継として「アジアの高校生架け橋プロジェクトプラス」による留学生の受け入れを行った。アジアからの留学生3名を受け入れることができた。また、今年度は、モンゴルからの留学生を受け入れる試みを行った。夏と冬の2回行い、概ね好評を得た。来年度は、規模を拡大しての受け入れを検討している。長期留学生受け入れとしてフィンランドとノルウェーから2名の男子生徒を受け入れた。留学生受け入れについては、AFSの関係者の方々、ホストファミリーとして手助けしていただいた地域の皆様など多くの方に助けていただいた。夏休み中の海外研修についても、行き先はイギリスとして4年ぶりに実施することができた。教職員からは「もっと留学生と在校生が触れ合ったり、協同して活動する機会があるとよい。」「授業中における留学生への支援は不十分な気がする。」といった意見もあり、改善すべき部分は改善していかなければならない。 9について …HPの充実、Instagramでの広報活動に加え、理事会の方からの援助を受け、ラジオ放送を開始するなど外部への露出度を上げている。しかし、教職員自己評価は、昨年と比べて下がっている。広報活動についての見直しとして、ホームページの見直し、Instagramにおいて生徒からの情報発信などを検討中である。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
	8	学校は、国際交流活動を通して、グローバルな人材となるよう指導している。	3.69	…「アジアの高校生架け橋プロジェクト」の後継として「アジアの高校生架け橋プロジェクトプラス」による留学生の受け入れを行った。アジアからの留学生3名を受け入れることができた。また、今年度は、モンゴルからの留学生を受け入れる試みを行った。夏と冬の2回行い、概ね好評を得た。来年度は、規模を拡大しての受け入れを検討している。長期留学生受け入れとしてフィンランドとノルウェーから2名の男子生徒を受け入れた。留学生受け入れについては、AFSの関係者の方々、ホストファミリーとして手助けしていただいた地域の皆様など多くの方に助けていただいた。夏休み中の海外研修についても、行き先はイギリスとして4年ぶりに実施することができた。教職員からは「もっと留学生と在校生が触れ合ったり、協同して活動する機会があるとよい。」「授業中における留学生への支援は不十分な気がする。」といった意見もあり、改善すべき部分は改善していかなければならない。 9について …HPの充実、Instagramでの広報活動に加え、理事会の方からの援助を受け、ラジオ放送を開始するなど外部への露出度を上げている。しかし、教職員自己評価は、昨年と比べて下がっている。広報活動についての見直しとして、ホームページの見直し、Instagramにおいて生徒からの情報発信などを検討中である。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
	9	HPなどにより、広報活動が十分に行われている。	3.19	…「アジアの高校生架け橋プロジェクト」の後継として「アジアの高校生架け橋プロジェクトプラス」による留学生の受け入れを行った。アジアからの留学生3名を受け入れることができた。また、今年度は、モンゴルからの留学生を受け入れる試みを行った。夏と冬の2回行い、概ね好評を得た。来年度は、規模を拡大しての受け入れを検討している。長期留学生受け入れとしてフィンランドとノルウェーから2名の男子生徒を受け入れた。留学生受け入れについては、AFSの関係者の方々、ホストファミリーとして手助けしていただいた地域の皆様など多くの方に助けていただいた。夏休み中の海外研修についても、行き先はイギリスとして4年ぶりに実施することができた。教職員からは「もっと留学生と在校生が触れ合ったり、協同して活動する機会があるとよい。」「授業中における留学生への支援は不十分な気がする。」といった意見もあり、改善すべき部分は改善していかなければならない。 9について …HPの充実、Instagramでの広報活動に加え、理事会の方からの援助を受け、ラジオ放送を開始するなど外部への露出度を上げている。しかし、教職員自己評価は、昨年と比べて下がっている。広報活動についての見直しとして、ホームページの見直し、Instagramにおいて生徒からの情報発信などを検討中である。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
主に学習指導に関する事柄	10	私は、「分かりやすい・深く考える」授業を目指して、教材研究に取り組んでいる。	3.13	10～13の項目については、新学習指導要領への対応、今後の様々なICT機器の活用、システムが変化していくことが予想されるので、校内での教材研究や校外での各種研修への参加を引き続き推進していきたい。1、2年生については、新課程となり、学年進行で観点別評価の導入が進み、変化の多い年度となったが、教務部を中心として、計画的に準備してきたこともあり、なんとか対応できた。ただ、観点別評価については、これまでの評価方法に比べ非常に時間と手間のかかるものである。来年度は全学年、観点別評価となり、この部分に時間を費やすこととなることが予想される。今後については、観点別評価の良い点を活かしつつ、効率的に評価ができるようなしくみを考える必要がある。 5月以降、年度途中で新型コロナ、インフルエンザが流行った次期もあったが、コロナ前の授業形態に戻すことができた。特に音楽、家庭科などの授業は、感染予防としての制約がなくなったことで、生徒達も楽しんで授業に参加することができたと思う。 生徒アンケートの「今の授業に満足している」については約97%の生徒から高評価を得ている。それに比べると、保護者アンケートの「子供から全体的に授業に満足していると聞いている」の項目は若干低めとなっている。家庭での授業についての会話等の中で、保護者がそう感じるような部分が出ているのかもしれない。 観点別評価のこともそうだが、今の教員の仕事量が増加傾向にあり、自分の教科の教材研究に割ける時間が、昔に比べると圧倒的に少なくなっているのが現実である。 授業改善を図るうえでも、学校の働き方改革は大事な部分である。改善できるところから改善していかなければならない。今年度から、教務支援に関するシステムを導入した。出欠管理や帳票作成など事務的な部分を自動化することで教職員の負担を軽減できる。今年度については、まだ不慣れな部分もあり、特に教務の教員は苦勞したところもあるが、結果的には、業務改善につながるはずである。 年度末に生徒に対して実施した、学校を良くしていくことを趣旨としたアンケートの結果、テスト発表の時期、課題の量など授業に関する意見もあったので、それらを元に改善していきたい。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
	11	私は、授業の進め方を、ALなどを取り入れながら、常に工夫・改善しながら適切に行っている。	3.13	10～13の項目については、新学習指導要領への対応、今後の様々なICT機器の活用、システムが変化していくことが予想されるので、校内での教材研究や校外での各種研修への参加を引き続き推進していきたい。1、2年生については、新課程となり、学年進行で観点別評価の導入が進み、変化の多い年度となったが、教務部を中心として、計画的に準備してきたこともあり、なんとか対応できた。ただ、観点別評価については、これまでの評価方法に比べ非常に時間と手間のかかるものである。来年度は全学年、観点別評価となり、この部分に時間を費やすこととなることが予想される。今後については、観点別評価の良い点を活かしつつ、効率的に評価ができるようなしくみを考える必要がある。 5月以降、年度途中で新型コロナ、インフルエンザが流行った次期もあったが、コロナ前の授業形態に戻すことができた。特に音楽、家庭科などの授業は、感染予防としての制約がなくなったことで、生徒達も楽しんで授業に参加することができたと思う。 生徒アンケートの「今の授業に満足している」については約97%の生徒から高評価を得ている。それに比べると、保護者アンケートの「子供から全体的に授業に満足していると聞いている」の項目は若干低めとなっている。家庭での授業についての会話等の中で、保護者がそう感じるような部分が出ているのかもしれない。 観点別評価のこともそうだが、今の教員の仕事量が増加傾向にあり、自分の教科の教材研究に割ける時間が、昔に比べると圧倒的に少なくなっているのが現実である。 授業改善を図るうえでも、学校の働き方改革は大事な部分である。改善できるところから改善していかなければならない。今年度から、教務支援に関するシステムを導入した。出欠管理や帳票作成など事務的な部分を自動化することで教職員の負担を軽減できる。今年度については、まだ不慣れな部分もあり、特に教務の教員は苦勞したところもあるが、結果的には、業務改善につながるはずである。 年度末に生徒に対して実施した、学校を良くしていくことを趣旨としたアンケートの結果、テスト発表の時期、課題の量など授業に関する意見もあったので、それらを元に改善していきたい。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
	12	私は、ICT機器の特性を活かした授業を行っている。	3.27	10～13の項目については、新学習指導要領への対応、今後の様々なICT機器の活用、システムが変化していくことが予想されるので、校内での教材研究や校外での各種研修への参加を引き続き推進していきたい。1、2年生については、新課程となり、学年進行で観点別評価の導入が進み、変化の多い年度となったが、教務部を中心として、計画的に準備してきたこともあり、なんとか対応できた。ただ、観点別評価については、これまでの評価方法に比べ非常に時間と手間のかかるものである。来年度は全学年、観点別評価となり、この部分に時間を費やすこととなることが予想される。今後については、観点別評価の良い点を活かしつつ、効率的に評価ができるようなしくみを考える必要がある。 5月以降、年度途中で新型コロナ、インフルエンザが流行った次期もあったが、コロナ前の授業形態に戻すことができた。特に音楽、家庭科などの授業は、感染予防としての制約がなくなったことで、生徒達も楽しんで授業に参加することができたと思う。 生徒アンケートの「今の授業に満足している」については約97%の生徒から高評価を得ている。それに比べると、保護者アンケートの「子供から全体的に授業に満足していると聞いている」の項目は若干低めとなっている。家庭での授業についての会話等の中で、保護者がそう感じるような部分が出ているのかもしれない。 観点別評価のこともそうだが、今の教員の仕事量が増加傾向にあり、自分の教科の教材研究に割ける時間が、昔に比べると圧倒的に少なくなっているのが現実である。 授業改善を図るうえでも、学校の働き方改革は大事な部分である。改善できるところから改善していかなければならない。今年度から、教務支援に関するシステムを導入した。出欠管理や帳票作成など事務的な部分を自動化することで教職員の負担を軽減できる。今年度については、まだ不慣れな部分もあり、特に教務の教員は苦勞したところもあるが、結果的には、業務改善につながるはずである。 年度末に生徒に対して実施した、学校を良くしていくことを趣旨としたアンケートの結果、テスト発表の時期、課題の量など授業に関する意見もあったので、それらを元に改善していきたい。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
	13	私(各教科)は生徒や保護者が納得のいく評価基準を設定している。	3.33	10～13の項目については、新学習指導要領への対応、今後の様々なICT機器の活用、システムが変化していくことが予想されるので、校内での教材研究や校外での各種研修への参加を引き続き推進していきたい。1、2年生については、新課程となり、学年進行で観点別評価の導入が進み、変化の多い年度となったが、教務部を中心として、計画的に準備してきたこともあり、なんとか対応できた。ただ、観点別評価については、これまでの評価方法に比べ非常に時間と手間のかかるものである。来年度は全学年、観点別評価となり、この部分に時間を費やすこととなることが予想される。今後については、観点別評価の良い点を活かしつつ、効率的に評価ができるようなしくみを考える必要がある。 5月以降、年度途中で新型コロナ、インフルエンザが流行った次期もあったが、コロナ前の授業形態に戻すことができた。特に音楽、家庭科などの授業は、感染予防としての制約がなくなったことで、生徒達も楽しんで授業に参加することができたと思う。 生徒アンケートの「今の授業に満足している」については約97%の生徒から高評価を得ている。それに比べると、保護者アンケートの「子供から全体的に授業に満足していると聞いている」の項目は若干低めとなっている。家庭での授業についての会話等の中で、保護者がそう感じるような部分が出ているのかもしれない。 観点別評価のこともそうだが、今の教員の仕事量が増加傾向にあり、自分の教科の教材研究に割ける時間が、昔に比べると圧倒的に少なくなっているのが現実である。 授業改善を図るうえでも、学校の働き方改革は大事な部分である。改善できるところから改善していかなければならない。今年度から、教務支援に関するシステムを導入した。出欠管理や帳票作成など事務的な部分を自動化することで教職員の負担を軽減できる。今年度については、まだ不慣れな部分もあり、特に教務の教員は苦勞したところもあるが、結果的には、業務改善につながるはずである。 年度末に生徒に対して実施した、学校を良くしていくことを趣旨としたアンケートの結果、テスト発表の時期、課題の量など授業に関する意見もあったので、それらを元に改善していきたい。	△生徒アンケート7, 9, 10についてA評価が50%以下になっている。 △家庭学習ができていないようである。 △教員の仕事量が多く、授業準備の時間が取りにくいとの意見があったが、今年度は業務の見直しや配置換えなどもあり、少しでも改善されることを期待したい。 △3においては、生徒の回答と親の回答で差が大きい。家庭学習の時間などについても差がある。生徒自身のアンケートでの回答では、正直なところを回答せず、保護者とは正直な話をしているのではないかと。また保護者は子どもとの会話、テスト結果や、家庭での様子が回答に表れていると考えられる。生徒自身が授業やテストに関してどう感じているのかを話しやすい面談をしていただきたい。ただ単に「成績を上げなさい」ということでは、現状を変えにくいのではないかと。三者面談においても、保護者から具体的に家庭でどのような話をし、保護者が何に対して生徒の学習についての不安を抱いているか確認していただきたい。	3.00 3.00 3.00 3.00 3.00
主に進路指導に関する事柄	14	私は、各学年・教科の目標達成に向けて指導法を改善したり、研究したりしている。	3.31	概ね良好な結果である。生徒、保護者のアンケートについても、進路についてのどの項目も90%以上が高評価となっている。今年度の卒業生の進学実績については、国公立大学合格者が11名(現役特別進学コースから8名 ※薬57パーセントの合格率 現役進学コースからは1名)の合格者を出した。卒業生が53名と、少ない年であったこともあるが、昨年度は20名の国公立大合格者だったので、広域的には弱い部分となった。 また、学校の進路指導として、山口東京理科大・工学部の希望者を増やせていないことが課題であると感じる。中学生にもっとアピールをして、そもそも理系の希望者を増やすことが必要だと思われる。 16については、主にClassiを利用している情報発信をおこなっている。教職員自己評価が、昨年と比べると少し下がっている。また、保護者アンケートの「学校は、保護者との連携を密にした進路指導を行っている。」について、「そう思う」の回答が、他の進路に関する質問よりも若干、低いのが気になる。保護者への情報提供は増えているはずであるが、タイミングや内容などについて、よりよいものを目指していきたい。	△人数が少ないことを売りにしてもよいのではないかと。特に理系については少人数制なので、しっかり教えることが出来る！等アピールできるのではないかと。思う。 △進路については、集団で実施されている大学説明会なども増えてきていると思うので(コロナ時に比べ)極力多くの大学が集まる場所へ学校全体で参加できるとよい。(偏った大学への説明会では、興味を持つ、持たないに差が生じるため。)また、様々な職業の方をお呼びする機会には、希望があれば保護者も参加できると学校の進路指導の様子もわかってよいのではないかと。また、そのような機会には、卒業生が来ると目標にもしやすくと考える。	3.25 3.50 3.50 3.25
	15	LHR等を利用して計画的な進路指導がなされている。	3.50	概ね良好な結果である。生徒、保護者のアンケートについても、進路についてのどの項目も90%以上が高評価となっている。今年度の卒業生の進学実績については、国公立大学合格者が11名(現役特別進学コースから8名 ※薬57パーセントの合格率 現役進学コースからは1名)の合格者を出した。卒業生が53名と、少ない年であったこともあるが、昨年度は20名の国公立大合格者だったので、広域的には弱い部分となった。 また、学校の進路指導として、山口東京理科大・工学部の希望者を増やせていないことが課題であると感じる。中学生にもっとアピールをして、そもそも理系の希望者を増やすことが必要だと思われる。 16については、主にClassiを利用している情報発信をおこなっている。教職員自己評価が、昨年と比べると少し下がっている。また、保護者アンケートの「学校は、保護者との連携を密にした進路指導を行っている。」について、「そう思う」の回答が、他の進路に関する質問よりも若干、低いのが気になる。保護者への情報提供は増えているはずであるが、タイミングや内容などについて、よりよいものを目指していきたい。	△人数が少ないことを売りにしてもよいのではないかと。特に理系については少人数制なので、しっかり教えることが出来る！等アピールできるのではないかと。思う。 △進路については、集団で実施されている大学説明会なども増えてきていると思うので(コロナ時に比べ)極力多くの大学が集まる場所へ学校全体で参加できるとよい。(偏った大学への説明会では、興味を持つ、持たないに差が生じるため。)また、様々な職業の方をお呼びする機会には、希望があれば保護者も参加できると学校の進路指導の様子もわかってよいのではないかと。また、そのような機会には、卒業生が来ると目標にもしやすくと考える。	3.25 3.50 3.50 3.25
	16	進路指導部からの情報の提供が適切になされている。	3.50	概ね良好な結果である。生徒、保護者のアンケートについても、進路についてのどの項目も90%以上が高評価となっている。今年度の卒業生の進学実績については、国公立大学合格者が11名(現役特別進学コースから8名 ※薬57パーセントの合格率 現役進学コースからは1名)の合格者を出した。卒業生が53名と、少ない年であったこともあるが、昨年度は20名の国公立大合格者だったので、広域的には弱い部分となった。 また、学校の進路指導として、山口東京理科大・工学部の希望者を増やせていないことが課題であると感じる。中学生にもっとアピールをして、そもそも理系の希望者を増やすことが必要だと思われる。 16については、主にClassiを利用している情報発信をおこなっている。教職員自己評価が、昨年と比べると少し下がっている。また、保護者アンケートの「学校は、保護者との連携を密にした進路指導を行っている。」について、「そう思う」の回答が、他の進路に関する質問よりも若干、低いのが気になる。保護者への情報提供は増えているはずであるが、タイミングや内容などについて、よりよいものを目指していきたい。	△人数が少ないことを売りにしてもよいのではないかと。特に理系については少人数制なので、しっかり教えることが出来る！等アピールできるのではないかと。思う。 △進路については、集団で実施されている大学説明会なども増えてきていると思うので(コロナ時に比べ)極力多くの大学が集まる場所へ学校全体で参加できるとよい。(偏った大学への説明会では、興味を持つ、持たないに差が生じるため。)また、様々な職業の方をお呼びする機会には、希望があれば保護者も参加できると学校の進路指導の様子もわかってよいのではないかと。また、そのような機会には、卒業生が来ると目標にもしやすくと考える。	3.25 3.50 3.50 3.25
	17	進路に関する相談や個人指導が適切になされている。	3.50	概ね良好な結果である。生徒、保護者のアンケートについても、進路についてのどの項目も90%以上が高評価となっている。今年度の卒業生の進学実績については、国公立大学合格者が11名(現役特別進学コースから8名 ※薬57パーセントの合格率 現役進学コースからは1名)の合格者を出した。卒業生が53名と、少ない年であったこともあるが、昨年度は20名の国公立大合格者だったので、広域的には弱い部分となった。 また、学校の進路指導として、山口東京理科大・工学部の希望者を増やせていないことが課題であると感じる。中学生にもっとアピールをして、そもそも理系の希望者を増やすことが必要だと思われる。 16については、主にClassiを利用している情報発信をおこなっている。教職員自己評価が、昨年と比べると少し下がっている。また、保護者アンケートの「学校は、保護者との連携を密にした進路指導を行っている。」について、「そう思う」の回答が、他の進路に関する質問よりも若干、低いのが気になる。保護者への情報提供は増えているはずであるが、タイミングや内容などについて、よりよいものを目指していきたい。	△人数が少ないことを売りにしてもよいのではないかと。特に理系については少人数制なので、しっかり教えることが出来る！等アピールできるのではないかと。思う。 △進路については、集団で実施されている大学説明会なども増えてきていると思うので(コロナ時に比べ)極力多くの大学が集まる場所へ学校全体で参加できるとよい。(偏った大学への説明会では、興味を持つ、持たないに差が生じるため。)また、様々な職業の方をお呼びする機会には、希望があれば保護者も参加できると学校の進路指導の様子もわかってよいのではないかと。また、そのような機会には、卒業生が来ると目標にもしやすくと考える。	3.25 3.50 3.50 3.25
主に生徒指導に関する事柄	18	全教職員が同じ方針で適切な生徒指導を行っている。	3.25	学校全体としては生徒指導部の嫌がらせ行為についてのアンケート等で早期発見、防止に努めている。問題行動は、ほとんどなく落ち着いた状態を維持している。 生徒への適切な声かけについての項目についてもポイントが昨年よりも上がっている。 生徒動静については、1、2年生で、転学者が複数名あった。対応が難しいケースが本当に多くなったが、学年、管理職、その他関係教員との連携を強めて対応していきたい。生徒との関わりについては、担任をはじめ色々な先生方がうまく関わられていると感じる。スクールカウンセラーの力も大きかったと感じる。シスターと生徒の関わりについても、今後、より深くしていきたいと思う。 部活動については、生徒アンケートの結果と教職員アンケートの結果に違いが見られた。教職員の自己評価は低い評価となっているが、生徒の評価は高い評価となっている。この評価の理由についてもう少し詳しく知りたいところである。 教職員からは、このような意見があった。	△生徒アンケート17の満足度が低い。 △生徒アンケート23のA評価41.1%とそれ以外の評価について分析が必要と考える。 △どんな部活があるのかというのも学校選びの1つになるところもある。廃部は残念だが、サビエルだからこそできること、例えば大学のようなサークル活動ができる、といったもののあつてよいのではないかと。思う。 △悩み相談やいじめについての生徒・保護者の回答にC,Dがあるのが気になる。また「入学してよかった」、「入学を勧める」についても、低評価がある。なかなか小さなことには気づき難いとも考えられる。また、本人から訴えることも難しいのではないかと。そこに目が届き、保護者とも連携がとれるよう(とりやすくするよう)な働きかけが必要。病院のように意見箱の設置で訴えを聴くことができれば良いが、そこに入れることも難しいそうではある。 ○生徒と細やかに話していただければいいと思う。 △18は重要で、職員間で差のないようにしていただきたい。こは、不満にもつながるため、職員間での共通認識が重要と思う。	3.00 3.25 3.75 3.75 3.25 3.00
	19	私は、校則を熟知しており、問題行動が発生した場合などの対応についても理解している。	3.19	学校全体としては生徒指導部の嫌がらせ行為についてのアンケート等で早期発見、防止に努めている。問題行動は、ほとんどなく落ち着いた状態を維持している。 生徒への適切な声かけについての項目についてもポイントが昨年よりも上がっている。 生徒動静については、1、2年生で、転学者が複数名あった。対応が難しいケースが本当に多くなったが、学年、管理職、その他関係教員との連携を強めて対応していきたい。生徒との関わりについては、担任をはじめ色々な先生方がうまく関わられていると感じる。スクールカウンセラーの力も大きかったと感じる。シスターと生徒の関わりについても、今後、より深くしていきたいと思う。 部活動については、生徒アンケートの結果と教職員アンケートの結果に違いが見られた。教職員の自己評価は低い評価となっているが、生徒の評価は高い評価となっている。この評価の理由についてもう少し詳しく知りたいところである。 教職員からは、このような意見があった。	△生徒アンケート17の満足度が低い。 △生徒アンケート23のA評価41.1%とそれ以外の評価について分析が必要と考える。 △どんな部活があるのかというのも学校選びの1つになるところもある。廃部は残念だが、サビエルだからこそできること、例えば大学のようなサークル活動ができる、といったもののあつてよいのではないかと。思う。 △悩み相談やいじめについての生徒・保護者の回答にC,Dがあるのが気になる。また「入学してよかった」、「入学を勧める」についても、低評価がある。なかなか小さなことには気づき難いとも考えられる。また、本人から訴えることも難しいのではないかと。そこに目が届き、保護者とも連携がとれるよう(とりやすくするよう)な働きかけが必要。病院のように意見箱の設置で訴えを聴くことができれば良いが、そこに入れることも難しいそうではある。 ○生徒と細やかに話していただければいいと思う。 △18は重要で、職員間で差のないようにしていただきたい。こは、不満にもつながるため、職員間での共通認識が重要と思う。	3.00 3.25 3.75 3.75 3.25 3.00
	20	私は、授業中のみならず、学校生活においても生徒には適切な声かけを行っている。	3.19	学校全体としては生徒指導部の嫌がらせ行為についてのアンケート等で早期発見、防止に努めている。問題行動は、ほとんどなく落ち着いた状態を維持している。 生徒への適切な声かけについての項目についてもポイントが		

実施日:2024年3月6日

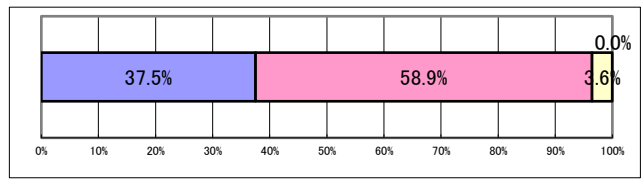
対象:生徒(全学年)

評価基準[A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそうは思わない D:そう思わない]

1 私は、建学の理念「愛と奉仕に生きる」を常に念頭に置いて、学校生活を送っている。 2 私は3つの教育目標〔①祈る(心を育てる) ②学ぶ(知性を磨く) ③行動する(他者とともに、他者のために生きる)〕を常に念頭に置いて、学校生活を送っている。

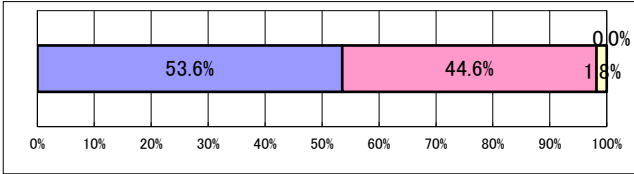


A 35 B 66 C 11 D 0 (人)



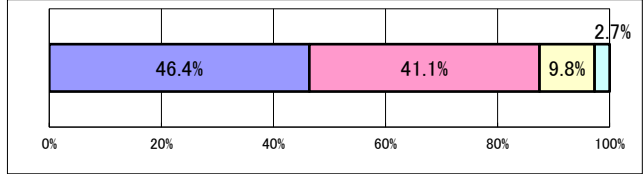
A 42 B 66 C 4 D 0 (人)

3 学校は、生徒の安全確保を最優先し、危機管理を根拠とした運営を行っている。



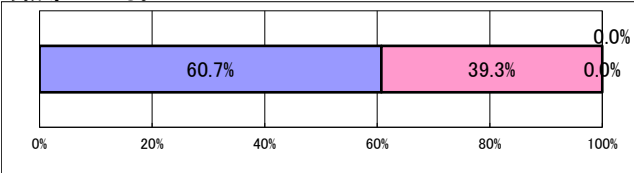
A 60 B 50 C 2 D 0 (人)

4 学校行事に満足している。



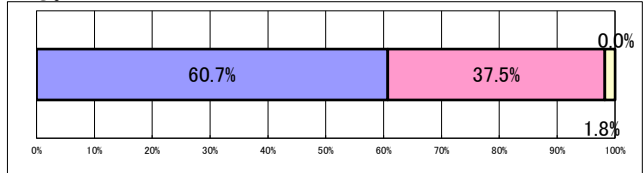
A 52 B 46 C 11 D 3 (人)

5 学校は、ボランティア活動を通して、他者のために生きる人材となるよう指導している。



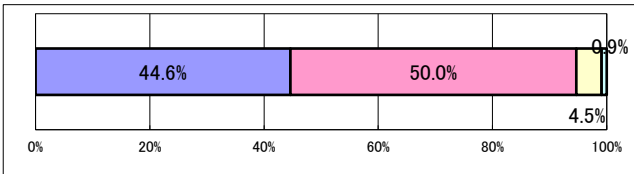
A 68 B 44 C 0 D 0 (人)

6 学校は、国際交流活動を通して、グローバルな人材となるよう指導している。



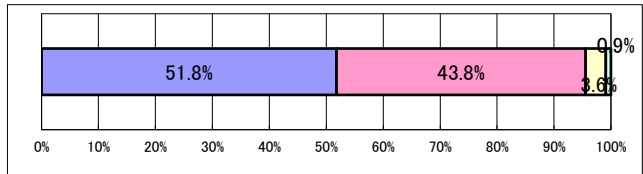
A 68 B 42 C 2 D 0 (人)

7 先生方は興味・関心を持てる授業を行っている。



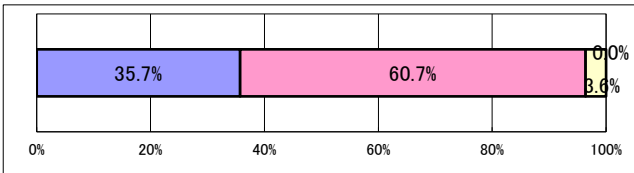
A 50 B 56 C 5 D 1 (人)

8 先生方は熱心に解りやすい、深く考える授業を行っている。



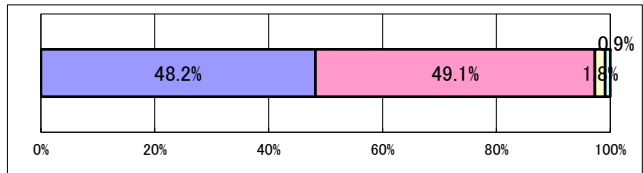
A 58 B 49 C 4 D 1 (人)

9 私は意欲的に授業を受けている。



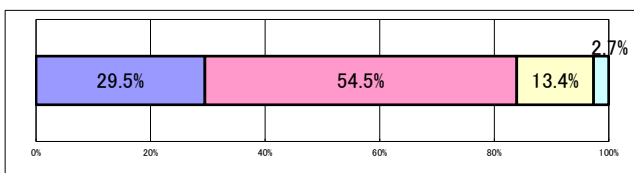
A 40 B 68 C 4 D 0 (人)

10 私は、今の授業に満足している。



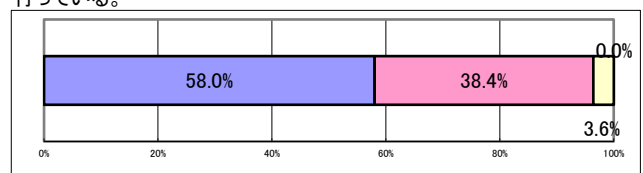
A 54 B 55 C 2 D 1 (人)

11 私は、家庭学習の習慣が身についてきた。



A 33 B 61 C 15 D 3 (人)

12 学校は、個別懇談等、生徒の適性や希望等を活かした進路指導を行っている。



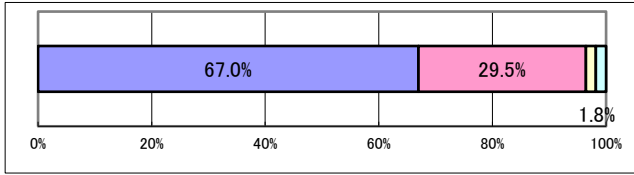
A 65 B 43 C 4 D 0 (人)

実施日:2024年3月6日

対象:生徒(全学年)

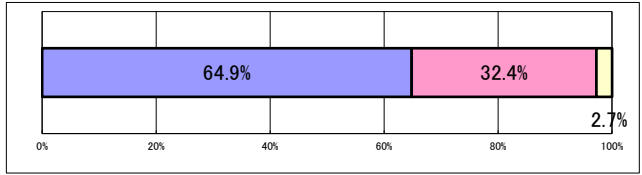
評価基準[A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそうは思わない D:そう思わない]

13 学校は、早期から進路に対する目標の意識づけを行っている。



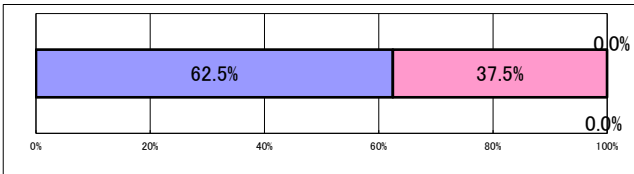
A 75 B 33 C 2 D 2 (人)

14 進路について考える際、学校内で必要な資料の閲覧、情報検索などが十分にできる。



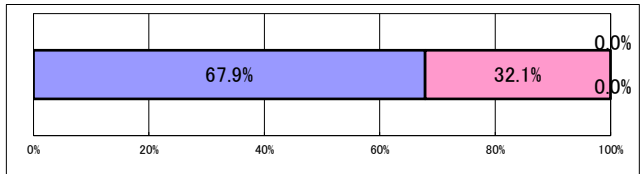
A 72 B 36 C 3 D 0 (人)

15 私は、基本的な生活マナー・交通ルールが身につけてきている。



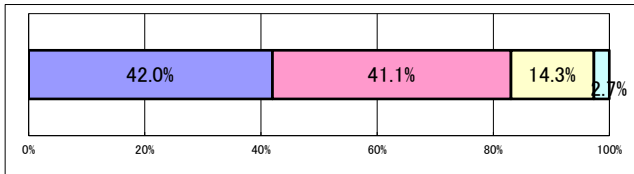
A 70 B 42 C 0 D 0 (人)

16 私は、髪型、服装などサビエルらしい身なりをしている。



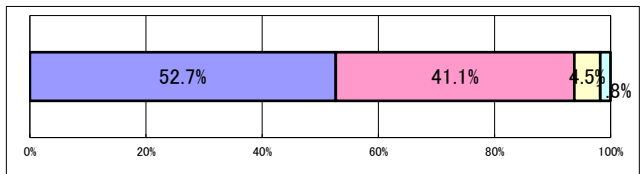
A 76 B 36 C 0 D 0 (人)

17 どの先生も同じ方針で生徒指導を行っている。



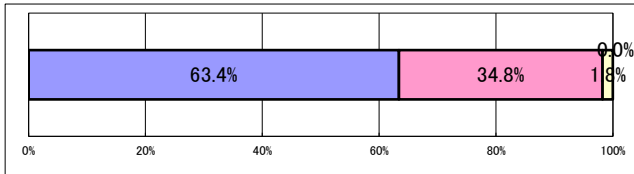
A 47 B 46 C 16 D 3 (人)

18 先生方は生徒の間違った行動に対して適切に指導している。



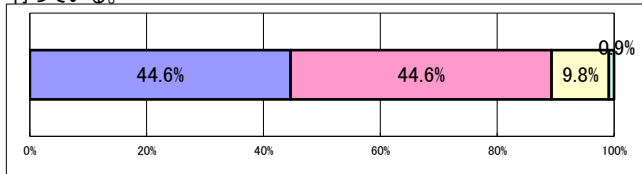
A 59 B 46 C 5 D 2 (人)

19 先生方は生徒からの相談に積極的・親身に応じている。



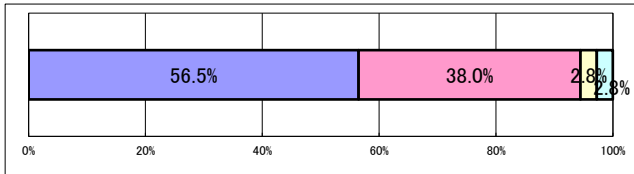
A 71 B 39 C 2 D 0 (人)

20 学校は、いじめの早期発見、防止など、いじめに対する対応を十分にしている。



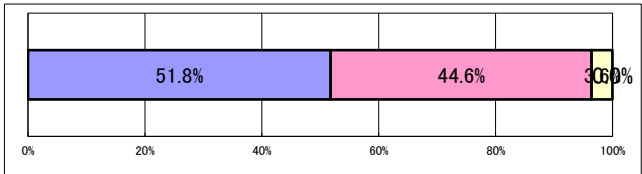
A 50 B 50 C 11 D 1 (人)

21 私が所属している部活動は、指導が十分に行われている。



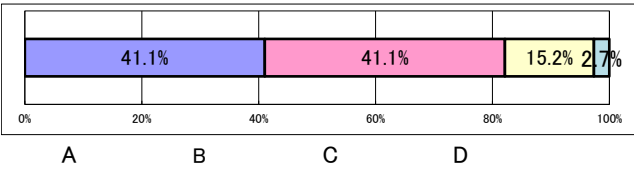
A 61 B 41 C 3 D 3 (人)

22 この学校に入学して良かったと思う。



A 58 B 50 C 4 D 0 (人)

23 知人や友人に、サビエル高校への入学を勧める。



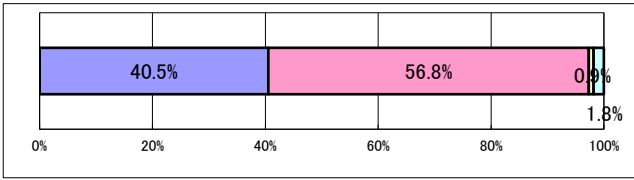
A 46 B 46 C 17 D 3 (人)

実施日: 2024年3月6日~3月31日

対象: 全学年保護者

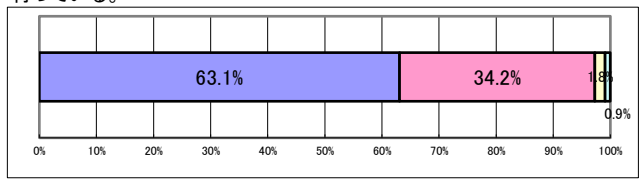
評価基準[A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそうは思わない D: そう思わない]

1 全校集会やホームページ等を通して建学の理念や教育方針等が生徒や保護者に伝わるようにしている。



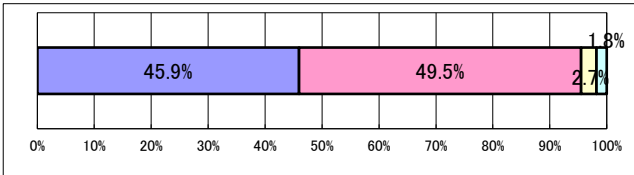
A 45 B 63 C 1 D 2 (人)

2 学校は、生徒の安全確保を最優先し、危機管理を根拠とした運営を行っている。



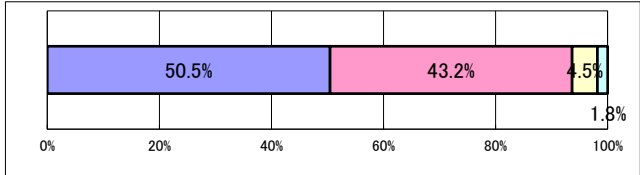
A 70 B 38 C 2 D 1 (人)

3 学校は、保護者の話や声を聞く機会を設けている。



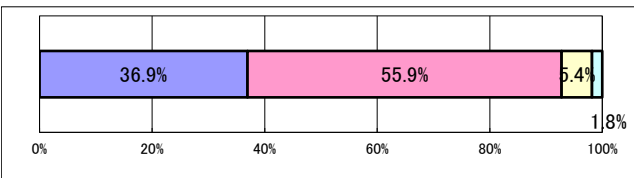
A 51 B 55 C 3 D 2 (人)

4 学校は、生徒の話や声を聞く機会を設けている。



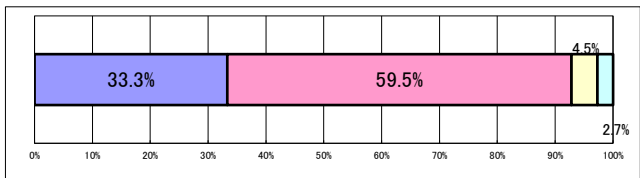
A 56 B 48 C 5 D 2 (人)

5 学校は、保護者の要望を把握し、協力して活動している。



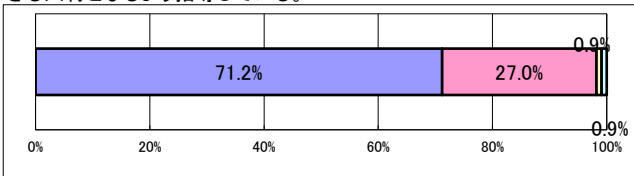
A 41 B 62 C 6 D 2 (人)

6 学校と保護者との連携がうまく取れている。



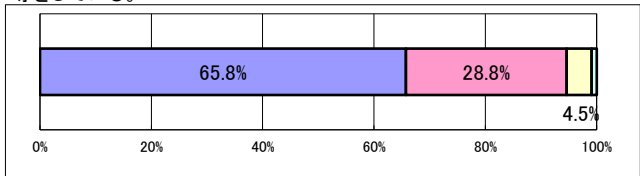
A 37 B 66 C 5 D 3 (人)

7 学校は、ボランティア活動や国際交流活動を通して、他者のために生きる人材となるよう指導している。



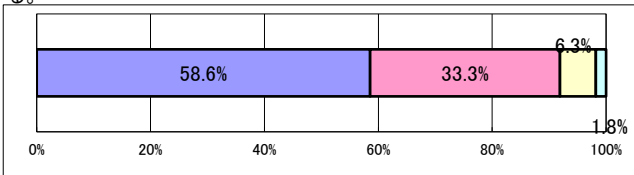
A 79 B 30 C 1 D 1 (人)

8 学校は総合的な学習の時間や学校行事等で、様々な体験ができる指導をしている。



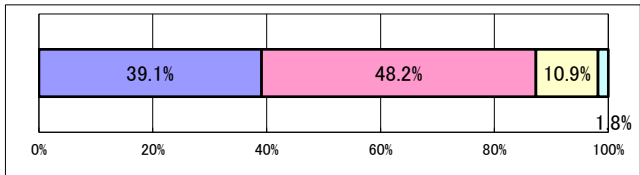
A 73 B 32 C 5 D 1 (人)

9 学校の雰囲気がよく、子どもはいきいきと楽しく学校生活を送っている。



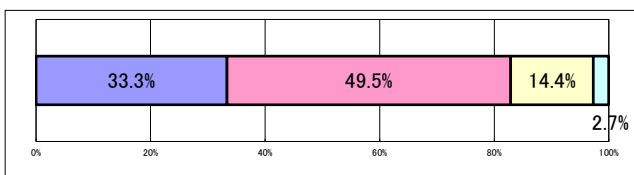
A 65 B 37 C 7 D 2 (人)

10 学校は、生徒の興味・関心を高める授業を展開している。



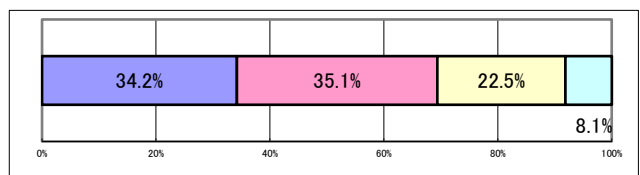
A 43 B 53 C 12 D 2 (人)

11 子どもから「全体的に授業に満足している」と聞いている。



A 37 B 55 C 16 D 3 (人)

12 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。



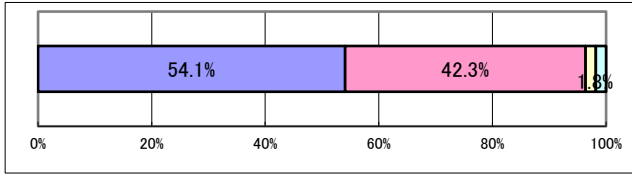
A 38 B 39 C 25 D 9 (人)

実施日: 2024年3月6日~3月31日

対象: 全学年保護者

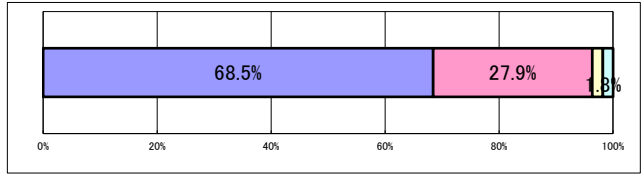
評価基準[A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそうは思わない D: そう思わない]

13 学校は、生徒の適性や希望等を生かした進路指導を行っている。



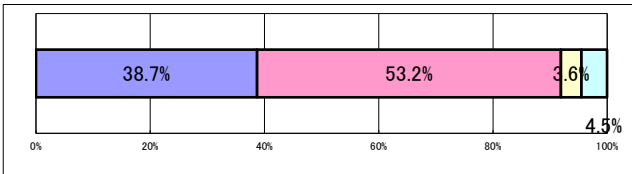
A 60 B 47 C 2 D 2 (人)

14 学校は、個別懇談等、生徒一人ひとりを大切にされた進路指導を行っている。



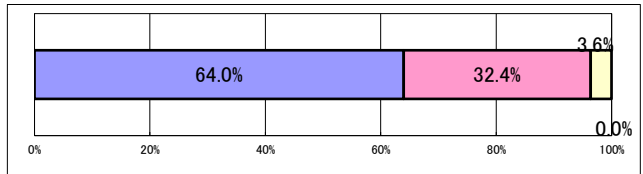
A 76 B 31 C 2 D 2 (人)

15 学校は、保護者との連携を密にした進路指導を行っている。



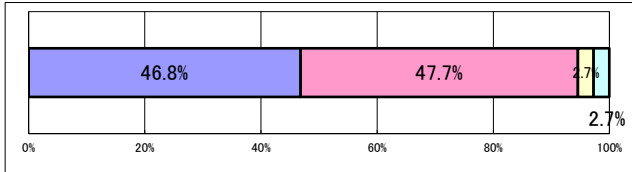
A 43 B 59 C 4 D 5 (人)

16 学校は、早期から進路に対する目標の意識づけを行っている。



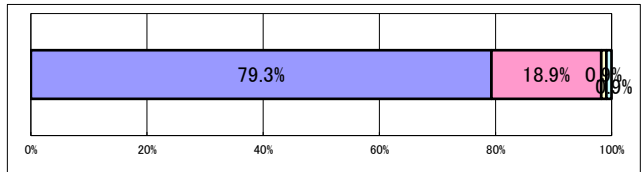
A 71 B 36 C 4 D 0 (人)

17 学校は、生徒に基本的な生活マナー・交通ルールが身につくように指導している。



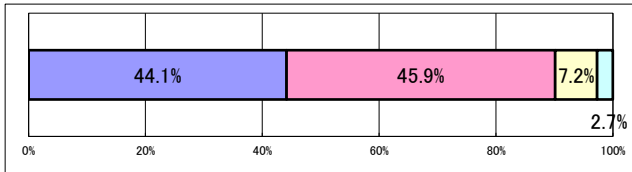
A 52 B 53 C 3 D 3 (人)

18 子どもは、髪型、服装などサビエル生らしい身なりをしている。



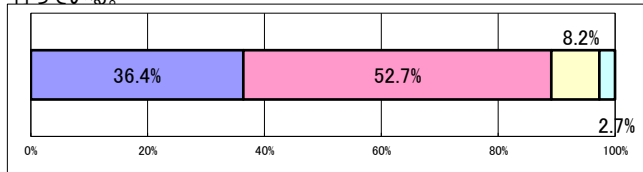
A 88 B 21 C 1 D 1 (人)

19 学校は、心身の悩みに応える指導を行っている。



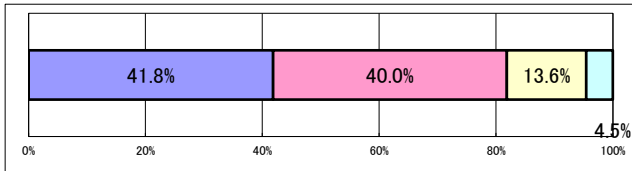
A 49 B 51 C 8 D 3 (人)

20 学校は、いじめの早期発見、防止など、いじめに対する対応を十分に行っている。



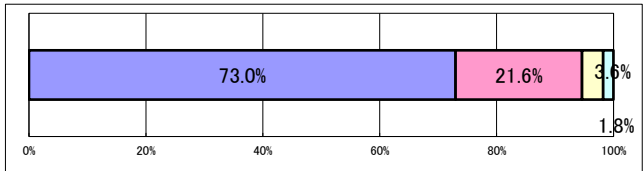
A 40 B 58 C 9 D 3 (人)

21 部活動の指導は十分に行われている。



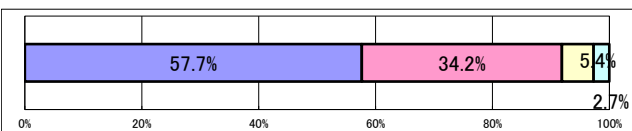
A 46 B 44 C 15 D 5 (人)

22 サビエル高校に入学させてよかったと思う。



A 81 B 24 C 4 D 2 (人)

23 知人や友人に、サビエル高校への入学を勧めたいと思う。



A 64 B 38 C 6 D 3 (人)